

## ワークショップ「ベトナム交通部門の省エネルギー」を開催

企画事業ユニット総括 表山 伸二



去る 12 月 22 日、ベトナム交通省と日本エネルギー経済研究所の共催によるワークショップ「ベトナムの交通部門における省エネルギー」をハノイで開催しました。当研究所では経済産業省からの受託事業として同国交通部門の省エネルギー推進を目指す共同研究を 3 年間にわたり実施し、今回はその研究成果を発表したものです。本事業では、交通省傘下のベトナム交通開発・戦略研究所 (Transport of Development and Strategy Institute) および商工省傘下のベトナムエネルギー研究所 (Institute of Energy) との共同研究を実施し、同国における交通部門のエネルギー見通しや、省エネ推進のための政策オプションなどを検討しました。

ワークショップは、ベトナム交通省環境局のズオン次長 (Mr. Tran Anh Duong) と当所兼清常務理事の開会挨拶で始まり、日本側からは 2 つの発表、ベトナム側からは各共同研究機関からそれぞれ 1 つの発表が行なわれました。ベトナムではモーターバイクが庶民の足で、道路輸送が総輸送量の 90% を占め、交通部門のエネルギーはすべて石油で賄われています。このため、自動車の燃費や排ガス基準の改善、鉄道開発によるモーダルシフトなどへの関心が高まっています。出席者からは、日本の燃料品質基準、自動車燃費基準政策などの具体的な実施方法についての質問が多くなされ、熱心な議論が展開されました。ベトナム交通省からは、交通部門の省エネルギーをさらに具体的に推進するため、日本の協力を引き続き要請されました。

お問合せ : [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)